



撮影 今井

生活型：多年草
分布：北海道～九州
形態等：茎は高さ60～100cmになり、花穂の軸とともに白い毛がある。葉は長楕円形で先がとがり、縁にきよ歯はない。花期は6～7月、花穂は10～20cmで一方にかたよって白い花を多数つけ、先が曲がる。花序の様子が虎の尾に見立てられてこの名がついた。
類似種：ヌマトラノオ (87p)



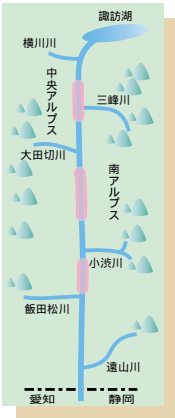
天竜川上流における分布

泰阜村の2カ所で確認した。日当たりのよい草地に生育する。



撮影 今井

生活型：多年草
分布：北海道～本州
形態等：茎は直立してやや堅く、高さ30～80cmになる。葉は8～10枚輪生し、線形で長さ2～3cm。花期は7～8月、茎の先や上部の葉の付け根から花枝を伸ばし、白い花をつける。果実に密に毛が生える。
類似種：カワラマツバ...同じく白い花をつけるが、果実は無毛
 キバナカワラマツバ...小さな淡い黄色の花をつけ、果実は無毛



天竜川上流における分布

飯田市から伊那市にかけて確認した。日当たりのよい乾いた草地や土手に生育する。



撮影 今井

生活型：多年草
分布：本州～九州
形態等：茎は高さ40～70cmで直立し、赤みを帯び、ときに枝分かれする。葉は比較的密に互生して、葉柄はなく、長さ4～7cmで細長い。花期は7～8月、花穂は枝分かれた茎の先に直立してつく。
類似種：オカトラノオ (87p)



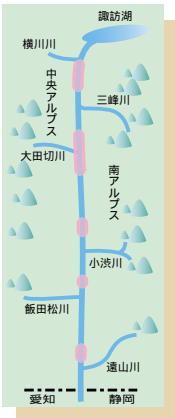
天竜川上流における分布

泰阜村檜橋と駒ヶ根市天竜大橋の2カ所で確認した。個体数は少ない。湿性に生育する。



撮影 今井

生活型：1年草、寄生植物
分布：帰化植物、北アメリカ原産。
形態等：茎は細く黄色を帯び、さまざまな植物に巻きつく。花期は夏～秋、花は茎の途中にかたまつてつき、約3mmで先は5つに裂ける。
類似種：ネナシカズラ...茎が約1.5mm、紫がかつた褐色の斑点がある。



天竜川上流における分布

泰阜村から辰野町にかけて所々で確認した。日当たりのよい砂れき地や堤防草地に生育する。



生活型: 1年草
分布: 帰化植物、熱帯アメリカ原産。
形態等: 茎には下向きの毛が生える。葉は円形で先は急にとがる。花期は7~11月、花は径5~8cmで、色は紅紫色のほか、赤、青、白など株によってさまざま。がく裂片は先があまり細くならず、長さは幅の3倍内外
類似種: アサガオ...葉はふつう3裂。がく裂片は先が細く伸び、長さは幅の5倍内外。

天竜川上流における分布

伊那市より上流の3カ所で確認した。日当たりのよい砂れき地や堤防草地に生育する。



生活型: 多年草
分布: 帰化植物、ヨーロッパ原産。
形態等: 茎は高さ20~50cmで、基部からときに走出枝を伸ばす。葉は下部のものは柄があり、中部以上では柄がない。花期は夏、花は淡い青色。

天竜川上流における分布

小浜川合流点より上流の所々で確認した。水湿地や流れの緩い細流に生育する。



生活型: 多年草
分布: 帰化植物(雑種)ヨーロッパ原産。
形態等: 茎は高さ50~80cmでひれがある。全体に荒い毛が多い。葉は濃緑色で短くたかい毛があつてざらつく。花期は夏、花の色はさまざまである。花冠は広い筒型で下向きに咲く。食用に栽培されたり、牧草に使われたりする。

天竜川上流における分布

駒ヶ根市から上流の所々で確認した。堤防など日当たりのよい草地に生育する。



生活型: 多年草
分布: 北海道~九州
形態等: 茎は地下茎から直立し、高さ80~120cm、径3~7mmの四角柱状。葉は多数つき、長さ8~15cmで広い披針形。縁には荒いぎょ歯がある。花期は8~10月、葉のわきに白い花を密につける。名前は地下茎が太く真っ白なことに由来する。

天竜川上流における分布

飯田市JR天竜川橋、豊丘村芦部川合流、駒ヶ根市天竜川橋で確認した。やや富栄養となった湿性に生育する。

川は植物の吹きだまり？

「川は植物の吹きだまり」と言われています。「吹きだまり」はゴミなどが風に吹き寄せられた状態を指しますが、なぜそのように表現されるのでしょうか？

川を歩いてさまざまな植物を観察していると、ときどき手持ちの図鑑には載っていない種類が生育していることがあります。キャベツ、ダイコンをはじめとする野菜、穀物、園芸植物など、人間生活にかかわりのある種類が多いようです。

このような植物の多くは、天竜川に流れ込む支川によって運ばれてきたと思われる。川の周辺には農地や人家がたくさんありますが、そこで栽培されていた花や野菜の種や根が水によって運ばれ、河原で根付いたと考えられます。

伊那市から上流の天竜川では、諏訪湖から流れてきたと思われる種類を目にすることもありました。本来なら、湖のような流れのない所に生育する植物（このような植物を止水性の植物といいます）ですので、天竜川のような流水では生育できません。

「吹きだまり」と呼ばれる所以は、上のような植物や帰化植物も含め、さまざまな植物が生育していることからきているので



ケイトウの一種 園芸植物



たんばから流れ着いたイネ

それにしても、もう少し印象の良い言い方はなかったのでしょうか。

(百瀬 剛)



諏訪湖から流れ出たホテイアオイ

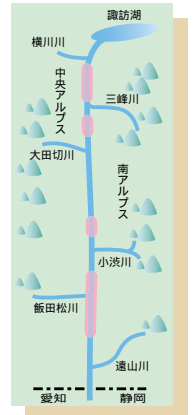
ハッカ *Mentha arvensis subsp. piperascens*

シソ科



撮影 EAC

生活型：多年草
分布：北海道～九州
形態等：茎は高さ20～60cmで直立し、四つの稜がある。葉は長楕円形で長さ2～8cm、表面に細毛が生える。花期は8～10月、上部の葉のわきに淡い紫色の小さな花を多数つける。地下茎を出して繁殖する。香料や薬用として栽培される。



天竜川上流における分布

飯田市から辰野町の所々で確認した。日当たりのよい湿った草地や水路のへりに生育する。

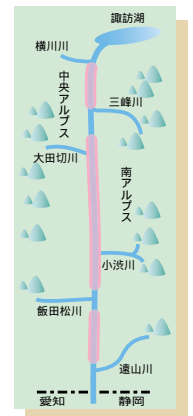
イヌゴマ *Stachys riederi ver. hispidula*

シソ科



撮影 EAC

生活型：多年草
分布：北海道～九州
形態等：茎は高さ50～70cmで直立し、ほとんど枝は出さない。四つの稜があり、稜には下向きの刺がある。葉は披針形。花期は8～9月、茎の先に長さ1.5cmほどの淡い紅色の小さな花をつける。



天竜川上流における分布

ほぼ全域で確認した。多少湿り気のある草地に生育する。



撮影 EAC



生活型：低木、落葉樹
分布：北海道～南西諸島

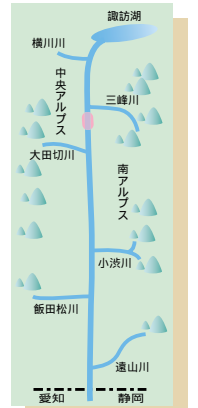
形態等：茎は高さ1～2m、低い稜があり、刺状の短い枝を葉腋から出すことがある。葉は長楕円形で縁にきょ歯はない。花は年に6月と9月の2回咲き、淡い紫色の花をつける。花後鮮やかな赤い実をつける。漢方薬として利用される。

天竜川上流における分布

泰阜村檜橋、飯田市姑射橋、阿島橋、豊丘村芦部川合流の4地点で確認した。堤防の草地や高水敷の林の林下などに生育する。



撮影 馬場



生活型：低木、落葉樹
分布：本州、四国

形態等：高さ1.5mになる。茎は4つの稜があり、断面は4角形。葉は先のとがった広披針形で、裏面に毛をまばらにつける。花期は7～10月、淡い紫色の花を多数つけ、先端は少し垂れ下がる。

天竜川上流における分布

伊那市殿島橋の1カ所で確認した。日当たりのよい砂れき地に生育する。



撮影 EAC



生活型：低木、落葉樹
分布：帰化植物、中国西部原産

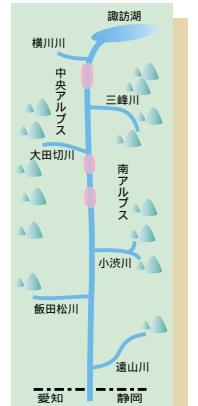
形態等：高さ1～4mになる。茎はわずかに4本の縦線があり、断面は円形。葉は長さ7～20cmで、裏側は毛が密生して白色。花期は夏、紫色の花を多数つけ、華やかである。次種フジウツギより大形になる。大鹿村、長谷村、などの石灰地の河原では群生地が見つかっていることから在来説もある。

天竜川上流における分布

天竜村水神橋、飯田市時又、阿島橋上下流の4カ所で確認した。日当たりのよい砂れき地に生育する。



撮影 今井



生活型：多年草
分布：北海道～九州

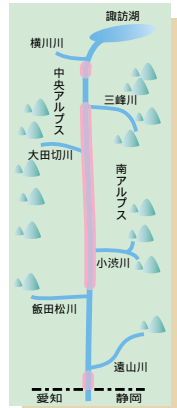
形態等：茎は高さ10～30cm。全体が無毛で柔らかい。茎にはひれ状の稜がある。葉は広卵形で、へりにはきょ歯がある。花期は6～8月、花は黄色。

天竜川上流における分布

駒ヶ根市小鍛冶橋・天竜大橋と辰野町新樋橋・城前橋の4ヶ所で確認した。水際の湿性地に生育する。



撮影 EAC



天竜川上流における分布

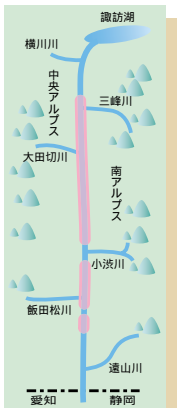
生活型：2年草
 分布：帰化植物、ヨーロッパ原産。
 形態等：茎は高さ1～2mになる。全体に灰白色の毛が密生する。葉は長楕円形で長さ30cmになる。花期は夏～秋、花の色は黄色。

ほぼ全域で確認した。日当たりのよい堤防草地や砂れき地に生育する。



撮影 今井

生活型：1年草ときに多年草
 分布：帰化植物、ヨーロッパ原産。
 形態等：葉はへら型で、すべて根本から出る。しばしばへりが縮んで波打ち、葉柄には立った淡い褐色の毛が生える。花期は6～7月、花茎の高さは20～70cmで先に穂状の白い花をつける。



天竜川上流における分布

飯田市JR天竜川橋から伊那市新水神橋にかけて確認した。日当たりのよい砂れき地や草地に生育する。



撮影 EAC

生活型：1年草
 分布：本州（特に中部地方以西）～南西諸島
 形態等：茎は高さ20～60cmになる。全体に毛がなく、柔らかい感じがする。葉は長楕円状披針形で、へりに細かいきょ歯がある。花期は5～6月、葉のわきから花柄を伸ばし、多数の白い花をつける。



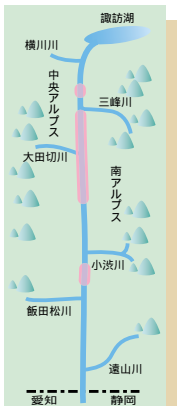
天竜川上流における分布

10カ所ほどで生育を確認した。実際の湿性草地に生育する。1997年レッドリストでは準絶滅危惧種とされているため、分布の図示は避けた。



撮影 馬場

生活型：低木、落葉樹
 分布：北海道、本州（日本海側）
 形態等：高さ1～2m。若枝には短毛が密生する。葉は広楕円形～楕円形で、長さ1.5～5cm、裏面に軟毛が密生する。花期は4～6月、はじめ白くのち黄色になり、これが入り交じって咲くのでキンギンボクの名前がついた。



天竜川上流における分布

飯田市阿島橋から箕輪町箕輪橋にかけて確認した。日当たりのよい砂れき地に生育する。



撮影 馬場



天竜川上流における分布

橋木村壬生沢川合流の1カ所で確認した。日当たりのよい、林の縁のような場所に生育する。ヤブウツギより北方に分布する。

生活型：低木、落葉樹

分布：本州（中部・太平洋側）～九州

形態等：高さ4mほどになる。葉は対生する。葉の裏面中央脈上に伏せた毛が密生する。花期は5～6月、漏斗状の花をつけ、はじめ白色、後に紫紅色に変わる。

類似種：ヤブウツギ（97p）



撮影 今井



天竜川上流における分布

天竜村水神橋の1カ所で確認した。河岸の岩場や乾燥した砂れき地に生育する。ニシキウツギよりも南方に分布する。

生活型：低木、落葉樹

分布：本州（東京以西・太平洋側）四国

形態等：若枝は有毛、ふつう開出毛が多い。葉は両面有毛、特に裏面脈状には開出毛が多い。花期は5～6月、漏斗状の花をつけ、暗い紫紅色で内面は色が薄い。

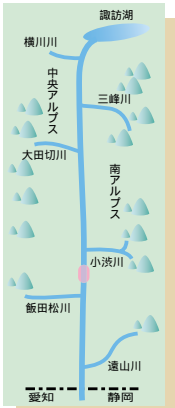
類似種：ニシキウツギ（97p）



撮影 EAC

生活型：多年草
 分布：北海道～九州
 形態等：茎は高さ1mほどになり、細くてかたく、上部で枝を分ける。葉は羽状に深く裂け、裂片は細い。花期は8～10月、茎の上部に黄色の花を傘状に多数つける。秋の七草のひとつとして親しまれている。

類似種：オトコエシ（98p）



天竜川上流における分布

豊丘村芦部川合流の1カ所で確認した。日当たりのよい乾燥した草地に生育する。天竜川ではほとんど見られない。



撮影 EAC



天竜川上流における分布

泰阜村長瀬橋、飯田市水神橋、三峰川合流点の3ヶ所で確認した。日当たりのよい砂れき地に生育する。

生活型：多年草

分布：北海道～南西諸島

形態等：茎は高さ1mほどになり、全体に粗い毛が多い。葉は羽状に深く裂け、裂片は広楕円形。花期は8～10月、茎の上部に枝を出し、白色の花を多数つける。

類似種：オミナエシ（98p）